

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および KPI実績値の公表について

当組合は、南魚沼の豊かな自然環境と共生し、農業を架け橋として地域社会に貢献する悦びを感じるとともに、実りある地域農業を確立し、組合員の飛躍を支援することを理念として掲げています。また『組合員とともに農業・地域の【夢】を実現！』というキャッチフレーズと定め、南魚沼の農業と地域を支えるJAとして、組合員や地域の期待に応える組織運営に取り組んでおります。

この理念およびキャッチフレーズのもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合の業務の健全性かつ適切な運営並びに共済推進の公正を確保する事を採択、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と安心・安全な地域づくりに貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

みなみ魚沼農業協同組合

I .取組状況

1 お客様への最適な商品提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および（注）、原則3（注）、原則6本文および（注2、3）】

- お客様に提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客様の多様なニーズにお応えできるものを選定します。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンクとしては、商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取り入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ（2024年3月末時点）>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	6 (前年度末：3)
株式型	3 (前年度末：3)	5 (前年度末：5)
REIT型	1 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型		7 (前年度末：7)

<商品選定の考え方>

主な選定基準等

- 長期投資を前提とした投資信託であること
- 手数料が良心的な水準であること
- 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 資産形成層には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

※商品選定の考え方：JAバンクHP
https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi_sintaku/select/

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I .取組状況

1 お客様への最適な商品提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則 2 本文および（注）, 原則 3（注）, 原則 6 本文および（注2、3）】

- 当組合は、お客様の多様なニーズや個々の生活環境等の十分な聞き取りを行い、取巻くリスクに対して万全に備えられるよう共済仕組み・サービスをご提供いたしております。
※ 共済事業は、当組合と JA 共済連が共同で事業運営しております。共済仕組みの詳細は、JA 共済連のホームページをご覧ください。
- 当組合は、外貨建て共済等の市場リスクを有する共済仕組みは提供しておりません。

I .取組状況

2 お客様本位のご提案と情報提供①

(1) 信用の事業活動

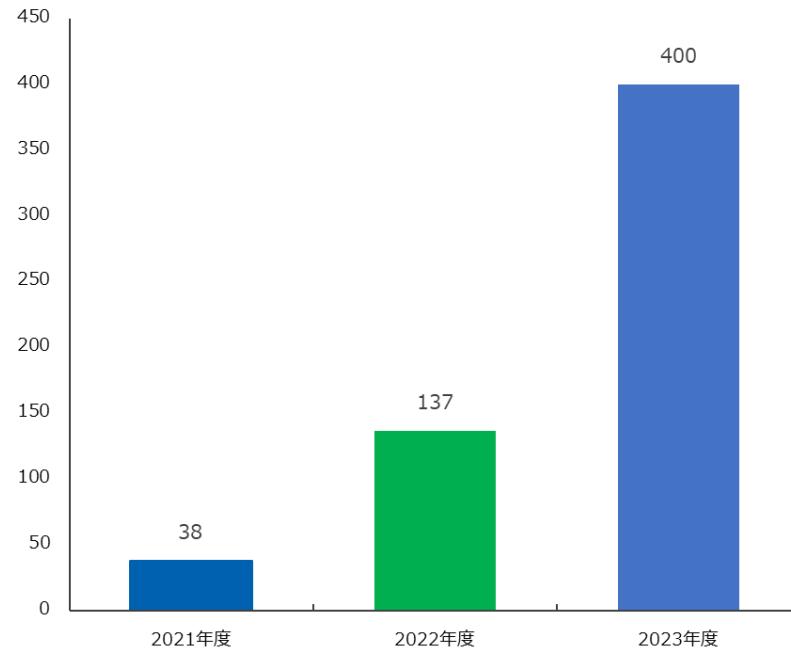
【原則2本文および（注）、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客様に安定的な運用成果をご享受いただくために、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用されるお客様が増加し、「毎月分配型ファンド」につきましては、昨年同様に販売はありませんでした。

※当組合では2020年12月より投資信託の取り扱いを開始いたしました。

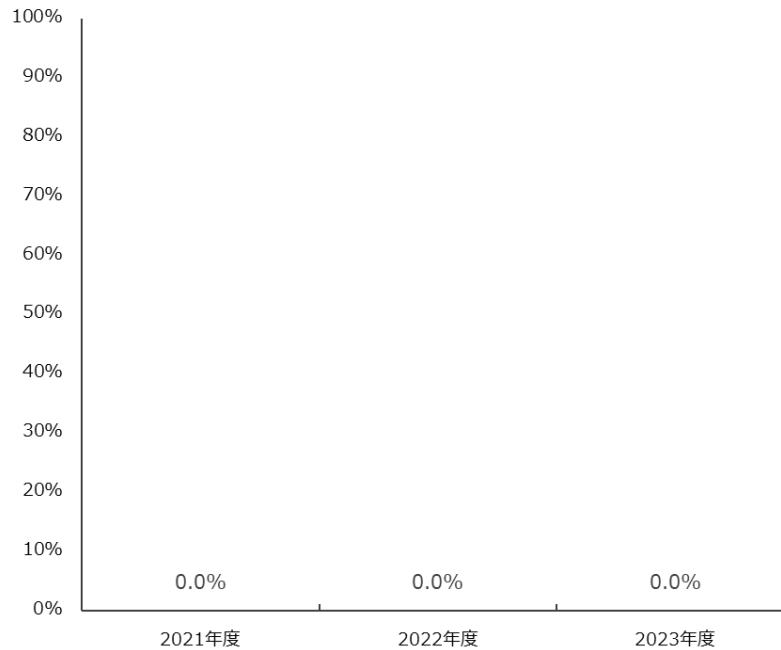
<投信つみたて契約件数の推移>

(件)



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>

(%)



I .取組状況

2 お客様本位のご提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

（1）信用の事業活動

- ・ 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、JAバンクセレクトファンドマップ、JAバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- ・ なお、2022年5月から重要情報シートを導入しております。
- ・ 組合員・利用者の皆様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に応じて、貯金・ローン・年金・相続等の最良・最適な商品をご提案します。特にご高齢の組合員・利用者に対しては、ご家族も含めてご理解いただけるように丁寧なご説明を行います。

I .取組状況

2 お客さま本位の提案と情報提供③ (2) 共済の事業活動

【原則2本文および（注）、原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

① 最適な保障プランのご提案

- 当組合では、お客さまのライフプランと個々の実情に応じた公的保険等の情報をご提供するとともに、共済仕組みを分かりやすくご説明し、保障プランを提案しております。
- 当組合は、お客さまに保障内容を十分にご理解・ご納得いただくために、「保障設計書」やパンフレット、ご案内チラシなどを活用して、お客さまのニーズに合わせて情報提供や保障提案を行っております。

② 契約締結時の対応

- 共済にご加入の場合は、個々のお客さまのご意向を十分に確認するため「意向確認書」を使用し、提案内容とご意向が合致していることを確認しております。
併せて、重要事項説明書（契約概要・注意喚起事項）を用いて、ご加入に関する重要な事項や保障内容等を分かりやすくご説明し、お客さまからご納得いただいたうえで契約締結を行っております。
- 共済のご加入にあたり、共済掛金の他にお客様からご負担いただく手数料等はございません。

I .取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供③ (2) 共済の事業活動

【原則2本文および（注）、原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1・2・4・5）】

③ 高齢者対応

- ご高齢のお客さまに対しては、より丁寧に分かりやすくご説明するとともに、ご子息やご家族の同席をお願いするなど、ご家族も含めて共済仕組みを十分にご理解・ご納得いただけるようきめ細かな対応を行っております。

④ 各種手続きとアフターフォローの実施

- ご加入後も、営業担当者による3Q活動を通じた「あんしんチェック（保障点検・ご加入内容説明）」など、対面・非対面によるアフターフォロー活動を行い、お客さまのライフイベントに応じた情報を定期的に提供いたしております。
- 共済金の請求漏れの確認や共済金等のご請求、お支払いなどの各種手続きにおいても、お客さまに分かりやすくご説明するとともに、迅速丁寧に対応しております。

I .取組状況

3 利益相反の適切な管理

(1) 信用事業

【原則3本文および（注）】

- 当組合では、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害するがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。

(2) 共済事業

【原則3本文および（注）】

- 共済の保障に関する情報をご提供するにあたり、共済仕組みのご提案・ご契約時において、お客さまの利益を不当に害するがないように、組合が定める「利益相反管理方針」に基づき適切に管理を行っております。

4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）、原則7本文および（注）】

① 人材育成と態勢の構築

- 当組合では、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築するため、各種研修や勉強会の実施、資格の取得を推進しております。

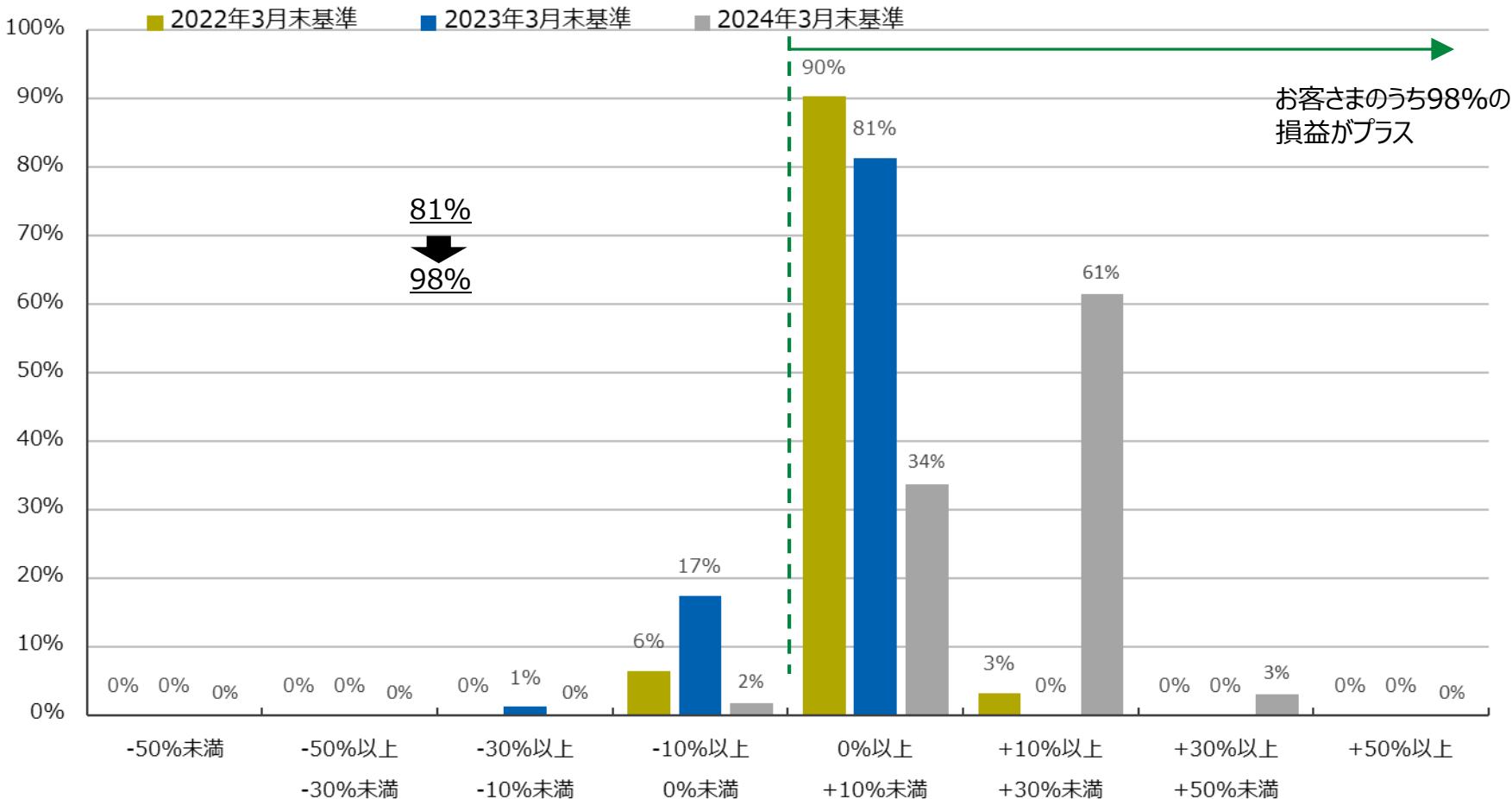
② お客さまの声を活かした業務改善

- お客さまの声を誠実に受け止め、各種研修会等の機会を通じて日々の業務改善とサービス向上につなげております。

II. 比較可能な共通 KPI

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

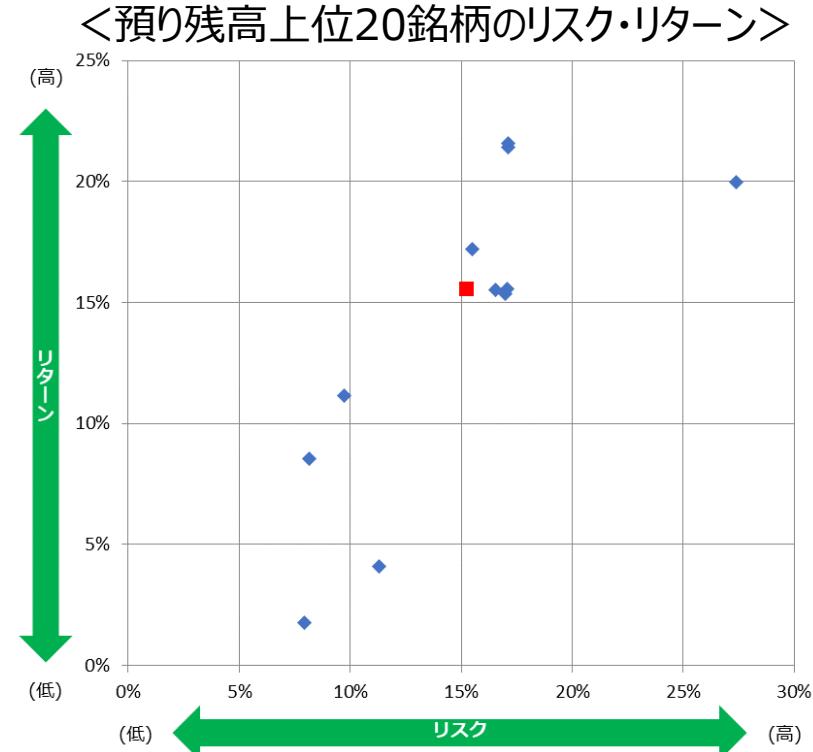
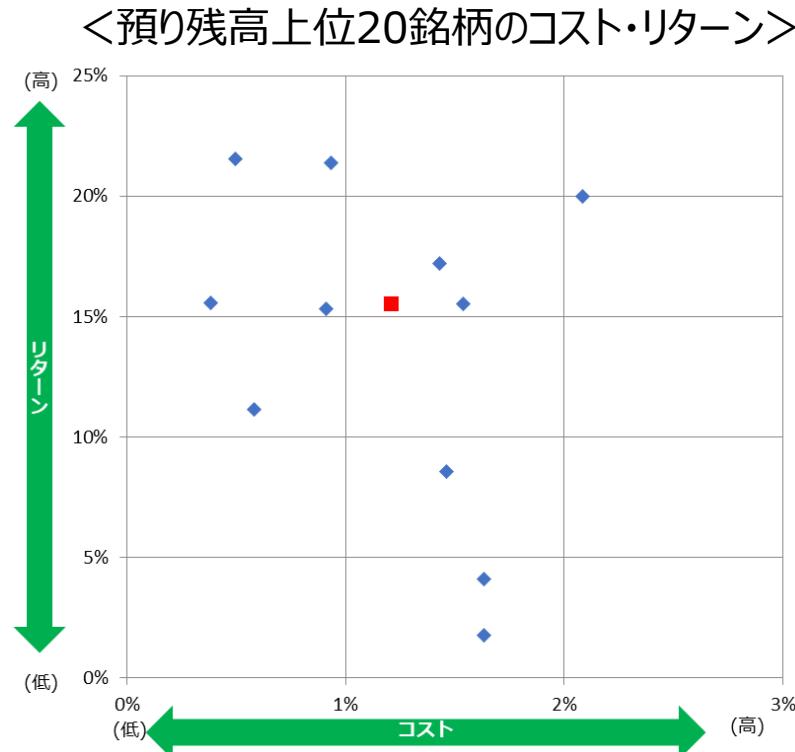
- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の98%のお客さまの損益がプラスとなりました。



Ⅱ.比較可能な共通KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2024年3月末）

- JAバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.21%、平均リスク15.24%に対して、平均リターンは15.54%でした。



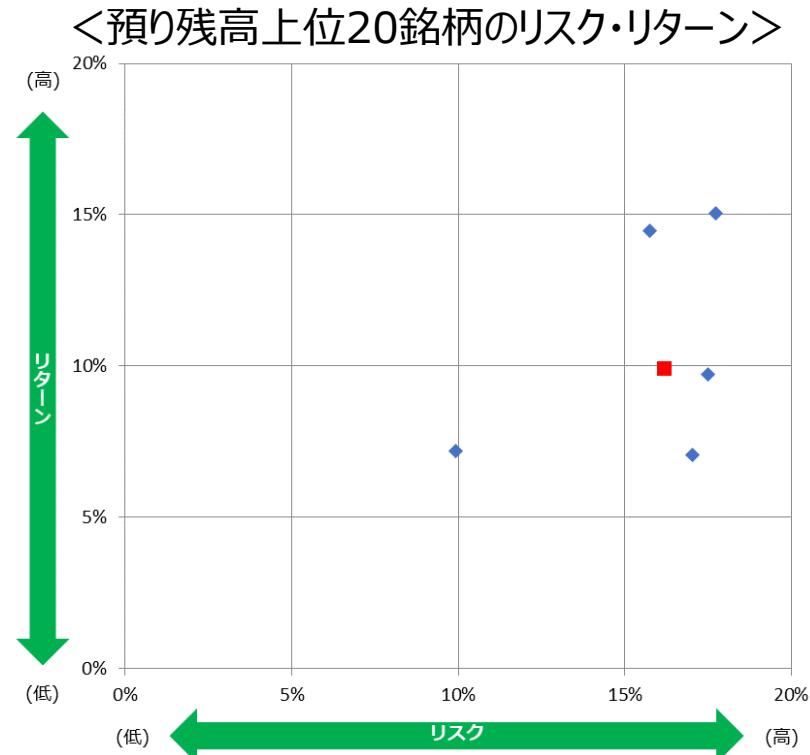
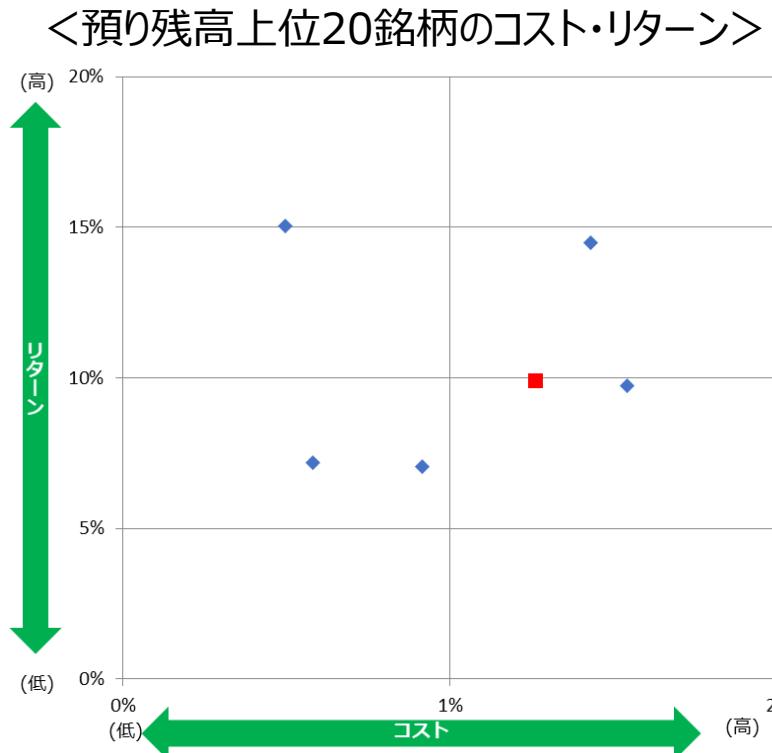
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2023年3月末）

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.26%、平均リスク16.18%に対して、平均リターンは9.90%となりました。



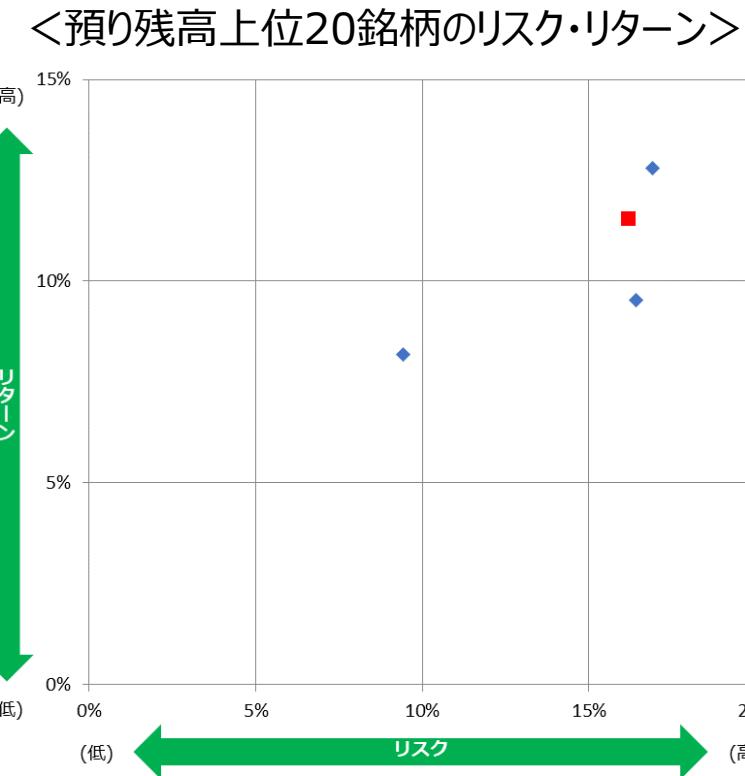
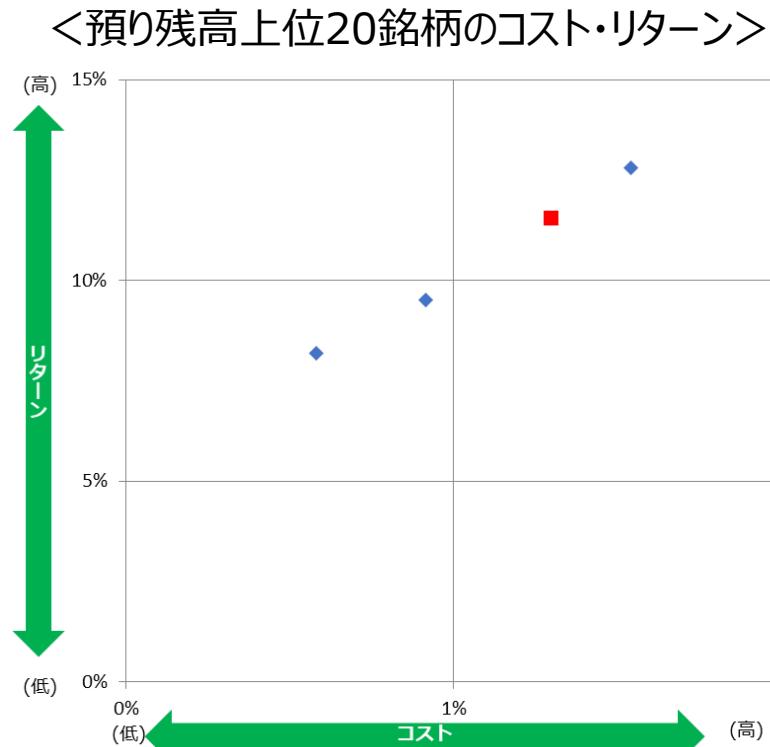
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。

※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2022年3月末）

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.30%、平均リスク16.18%に対して、平均リターンは11.56%でした。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	15.53%	16.54%	1.54%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	17.22%	15.52%	1.43%
3	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.34%	17.00%	0.91%
4	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.15%	9.72%	0.58%
5	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.55%	17.11%	0.50%
6	グローバル・インカムフルコース（為替ヘッジなし）	三菱UFJアセットマネジメント（株）	8.56%	8.16%	1.46%
7	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.40%	17.11%	0.94%
8	HSBC世界資産選抜 育てるJ-REIT(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント（株）	4.09%	11.30%	1.63%
9	ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	19.98%	27.37%	2.08%
10	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.57%	17.06%	0.39%
11	HSBC世界資産選抜 収穫J-REIT(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント（株）	1.75%	7.95%	1.63%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		15.54%	15.24%	1.21%

※ 2024年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2023年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	9.73%	17.50%	1.54%
2	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	7.18%	9.92%	0.58%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.05%	17.74%	0.50%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	14.48%	15.74%	1.43%
5	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	7.05%	17.04%	0.91%
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		9.90%	16.18%	1.26%

※ 2023年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は5本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通KPI

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（3/3）（2022年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	12.81%	16.91%	1.54%
2	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	9.53%	16.42%	0.91%
3	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	8.19%	9.42%	0.58%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		11.56%	16.18%	1.30%

※ 2022年3月末基準時点における共通KPIの対象となるファンド数は3本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。